

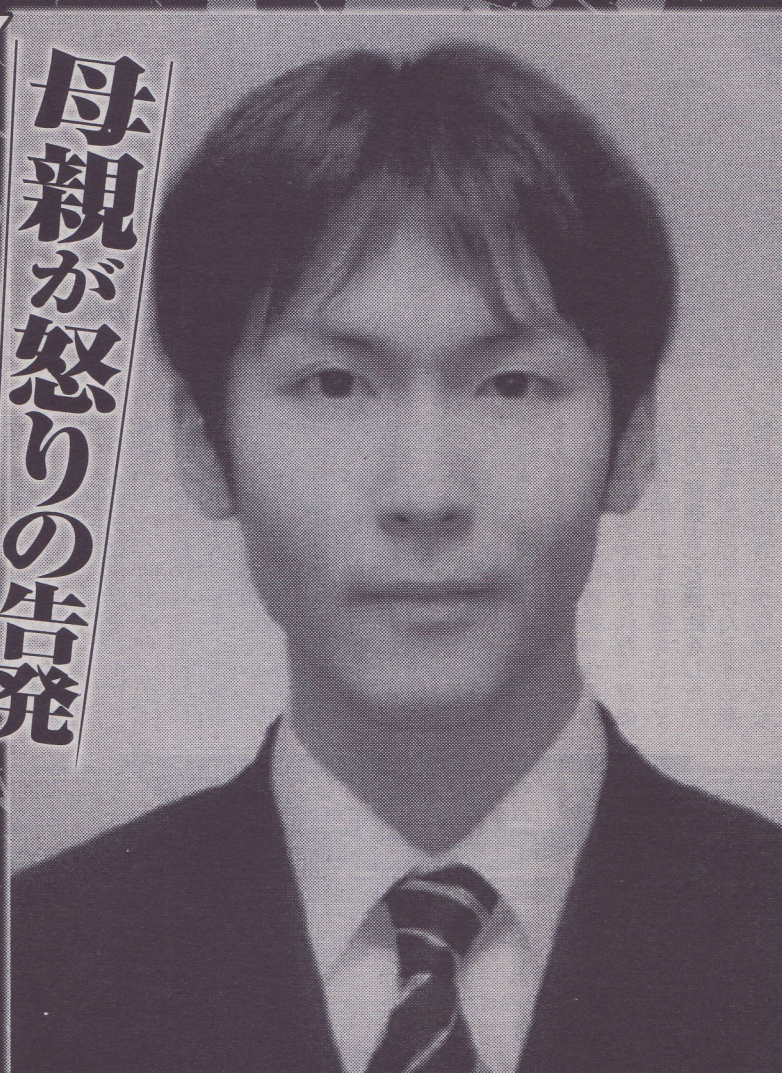
取り調べから自殺まで

全7時間の録音テープが物語る

痴漢えん罪疑惑!

息子を痴漢呼ばわりした女と
暴行をふるった男たちを許しません

母親が怒りの告発



イケメンエリート(原田信助さん)享年25
無実を訴え自殺

「大声で、信助いかないで」と呼びかけました。口からタラタラと涙のような血が流れていて、私は病院で温かいタオルを借りて、ずっと息子の口に当てていました。私が到着したのは、夜の8時ごろだったのですが、8時半に心臓が止まって、心臓マッサージを受けて……。病院の先生に「お母さん、息子さんこれ以上はかわいそうよ、肋骨折れちゃうよ」といわれて。私は、黙ってうなずくしかできませんでした」
母親の願いは届かず、瀕死のひとり息子は25年の生涯を閉じた。2009年12月11日、21時3分のことだった。
ここに登場する信助さんは、原田尚美さん(53)のひとり息子だ。彼が死を選ぶことになったきっかけは……。24時間前に起こったある出来事にさかのぼる。
その夜、原田さんは、自分が主役として迎えられた飲み会の席にいた。2008年に早稲田大学商学部を卒業後、JAXA(宇宙航空研究開発機

取り調べから自殺まで全7時間の録音テープが物語る

痴漢えん罪疑惑!



原田さんの肉声が詰まったボイスレコーダー

1人が暴行を加え始めた。JR職員が駆けつける騒ぎに、身の危険を感じた原田さんは「暴行されているので助けてほしい」と自ら110番通報をした。23時27分。2対1のケンカだった。

構に勤めたのち、09年秋に都内にある私立の美術大学の職員に転職。仕事が慣れてきたころあいを見計らって、職場の同僚が歓迎会を開いてくれた。09年12月10日、宴の後に、予想もしない不幸がばつくりと口をあけて待ち構えていることなど知る由もなかった。

JR新宿駅の山手線ホームに向かうため階段を上っていた原田さんは、酒に酔った男子学生2人・女子大生1人の3人グループとトラブルになった。すれ違いざまに「腹を触られた!」と叫ぶ女子大生(この発言を聞いたという証言者は、今のところいない)。男性2人が階段の3段目から原田さんを引きずりおろし、

その後、西口交番に連れられていかれた時から翌朝6時40分まで、つまり原田さんが東西線早稲田駅のホームから身を投げるまでのすべての音声ボイスレコーダーに生々しく記録されていた。原田さんが夜を徹してどのように扱われたかが手に取るようにわかる。原田さんが「被害届を出しに、警察署に行つてもらわなければならぬ」と交番で説明を受ける音声が冒頭で録音されていた。その後、交番からパトカーで新宿署へ。詳しい事情聴取がはじまった。

ところが新宿署での原田さんの立場は、「暴行を受けた被害者」ではなく「すれ違いざまに痴漢を働いた被疑者」に変わっていきのだった。「息子はボイスレコーダーを英会話の勉強のためにいつも持ち歩いていたと、息子の死後、友人から聞かされました。任意であることを確認した原田さんは、警察官の目の前で堂々と録音を始めます。理不尽な警察の対応に当初、原田さん

んの声は、反論のエネルギに満ちた力強いものだった。電話1本かけさせてもらえない苛立ちを募らせ、次のように訴えている。

**突然の暴力……
思いもよらぬ疑い**

「私はいきなり突き飛ばされて、馬乗りになられた。被害者だから110番したんですよ!」

「帰るために電話をした。警察署に行く理由は? 私は暴行を受けた状況をずっと、リアルタイムでYさん(警察官の名前)に説明していたんです」

「15番線と16番線の階段を上つていたら突然、3段目が4段目から下に落とされ、馬乗りになられた。おまえだろ、おまえだろ、と暴力をふるわれ、身の危険を感じ、相手を反転させて自分が上になつてもみくちやの状態になつた。A(駅員の名)に首をつかまれてもみくちやにされた。身の危険を感じ110番をしてYさん(警察官)と通話をした」

「駅員が駆けつけたときの形勢は、原田さんが馬乗りになつていたのでした」

JR東日本の話。社員が現場に駆けつけたときは、1人の男性が馬乗りになつて押さえつけていた、とのこと。痴漢ではなく、トラブルとして対処した、と聞いています」

(上)買ったばかりの携帯電話は暴行により壊れた。原田さんが暴行を受けたとされる現場。当時は工事中だったが現在は補装されている

2010年 6月8日号 目次 週刊女性

No.2597 ©主婦と生活社

生活実用特集

- 究極のしょうが焼き 焼きレシピ 19
- もやし×黒酢ダイエット 183
- こうちゃん15分で晩ごはん vol.6 186
- 生活実用ワイド カビ・ニオイ撃退 71
- 袋とじ 招福玄関のつくり方 87
- 企画 私、待つわ♪ 191

好評連載

- 岩井志麻子 「おんなキラキラ おんなキラキラ」 76
- アニメ「冬のソナタ」第24話 143
- ◎アニメ「冬のソナタ」製作委員会 ハートのしっぽ 127
- あやせ理子 第274回 投稿どんぶり 80
- 旬刊 知つて! 「ゲゲゲの女房」風景巡り// 164

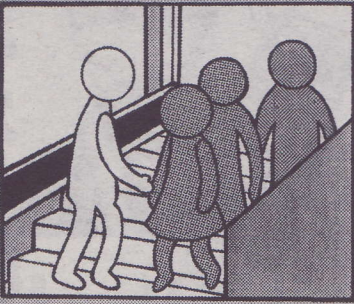
- 週刊 Celeb Scoop 海外スターの最新ニュース丸わかり/人気セレブがすっかり失言…ほか 57
- 琉球ユタ「はる」の 琉球スピリチュアルの智慧 161
- みよこ先生「こころのお守り」 55
- Dr. 苫米地の幸せ超脳力アカデミー プレノ プレノ 98
- 隔週連載 4コマまんが 漂流夫人 久保マン 115
- 著者に直撃/ BOOK 120
- 見どころ先取りシネマ 121
- おうちでどっぷりDVD 122
- 夢ト6 159
- 家事検定クイズ 174
- CATCH UP NEWS 199
- 細木数子「あなたの運命」 200

スクープ&ニュース

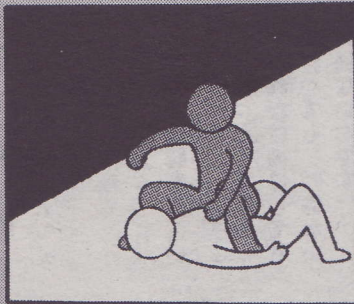
- 痴漢えん罪疑惑! イクメン無実を訴え自殺母親が怒りの告発 榎原敬之のあつて下カレとバーステ朝帰りの榎つた、芸能スクープワイド狙いは的中!
- ①矢田亜希子(私生活を初告白)②拓哉・涼子(子と母談話)③藤木直人(1億2千万豪邸購入)④玉置・青田(愛のキュービッドは「ムッシュユウ」)⑤淳(1億トメクで集合)
- 今やアラフォー「80年代アイドルたちの今」あなたは大丈夫? 困った口喧嘩事情 あなたは愛のために死ぬますか? iPadまるわかりガチcheck!
- 初夏の至幸! 短期集中連載! 人形町そぞろ歩きで、3億圓当たる!! 女優かわいのどが独占告白/ 羽宮と闘う日々 高須克弥 乗越えられないいまの思い スペンシャル特稿 氷川きよし 旅立ちの笑顔!! スコソコ肉休 アイ・ビヨンホン 美しい彫刻ボディー 入道トキマツ 幸福を呼ぶタキシードと呼ばれて

12月10日～11日の再現

(母の証言とボイスレコーダーの記録をもとに)



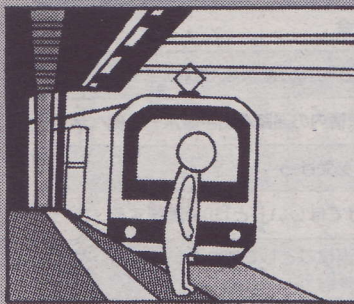
①事件発生
ホームへ向かう原田さんとすれ違う女性と男性2名の3人組。女性が、「(原田さん) 腹を触られた、痴漢!」と証言。原田さん、相手3名ともに酒に酔った状態だった。



②暴行
ホームに向かう階段を3段目まで上ったところを突然引きずりおろされ、「おまえだろ! おまえがやったんだろ!」などといわれながら男子学生から暴行を受ける。



③事情聴取
交番で事情聴取された後、パトカーで新宿署に連れて行かれる。このときまだ原田さんは自分がかげられた痴漢容疑を知らずに暴行の被害者と主張している。



④自殺
新宿署から解放された後、自殺。夜21時3分に死亡が確認される。1月に入り女性がた痴漢の被害届が出され、被疑者死亡のまま痴漢容疑で送致されたが、不起訴処分となった。

ひとり息子が自殺したショックは母親をも絶望させ何をしたのか記憶を残していない。「1週間くらいは茫然自失のまま暮らしていて、ご飯も食べられなかった」という。なぜ死んだのか? 傷心す

09年12月、都内の美大職員・原田信助さんがホームから飛び降り命を絶った――。
その7時間前、新宿駅で奇妙な事件が起きる。「腹を触られた!」酒に酔った女が叫び、原田さんは女の友人男性に暴行される。その後、痴漢容疑で事情聴取を受け――。懸命に無実を訴える様子が原田さんのボイスレコーダーに残されていた。いったい何があったのか――



当時の階段写真

突然知らない男性2人に殴りかかれたら誰だって反撃するだろう。相手も原田さんも酒を飲んだ帰りの出来事。先に暴力をふるったのは相手側、自分は被害者だ、という思いが当然強く、自分の被害の様子などを主張していた。だが、聴取の中で次のように伝えられた瞬間、言葉を失った。
そのやりとりを再現する。警察「階段でね。お腹を触られた、という女性の訴えがあったんですよ」

原田「……。私はただ、暴行を受けたと主張しているんですけど、その暴行に関するの保障はないんですか? 意味がわからない」
警察「あなたのほうからも、相手のほうからも話を聞いています」
原田「指紋とか取れないんですか? どこ触られたんですか、その相手の女性は」
警察「お腹。洋服の上から」
原田「お腹って。洋服の上から反応とか取れないんですか?」
警察「それはこれからの話。あの場所にいらっしやっただけは原田さんとね、相手の女性だけ」
原田「ちょっと待ってください! 私だけ××聞きとり不能」



(右)原田さんが新宿署から帰る際に書かれた確約書の写し(写しは母親によるもの)。字が乱れているのはコンタクトをはずしたからと注意書きが添えられて(上)新宿警察署

確約書
本日私は暴行を受けたこととして新宿警察署へ話をし、この中で警察署から呼び出しが来れば、随時お伺い致す。
平成2年度12月11日
原田信助 (印)
Tel 090-
新宿警察署長 延哲夫殿
上記の祖力が属した状態の乱筆となりました旨を記載し

取り調べから自殺まで全7時間の録音テープが物語る

痴漢えん罪疑惑!



真夜中の聴取で原田さんが追いつめられ弱っていく。

◆ 未明2時。こんなやりとり。警察「女の方が確認をしているんですよ」

◆ 原田「私はまったく関係ありません。とれだけ憔悴しても状況が変わっても、関係ないものは関係ないんです」

警察「痴漢、そこが始まりですから、女性の方は真正面から来ているのであなたの顔を見ていますから。どうしまし

◆ 原田「……どうしたらいいのかが聞きたい」(中略)

◆ 原田「(お腹を触ったカバンが触れた) 衝撃を受けた覚えはありません。(中略) 刑事事件としての処罰を望みます」

◆ 警察「(鼻で笑うような感じで) おお、相手の方も望んでいますよ」

◆ 女性側の証言をもとに進む捜査に、小坂英二荒川区議も「おかしな話」と警察のやり方に疑問を投げかける。小坂議員はこの事件を母親から聞き、2月に自身のブログで紹介。その後ネット上では「痴漢えん罪事件」として話題になっていった。

◆ 「まず証拠がない。大学生側が知っているだけ。信助さんの手のひらの繊維も取っていない。DNAの捜査もしていない。明らかにずさんで、女性側の証言のみで進んでいます。男性2名を連れられた女性に、

7時間半に及ぶ録音テープが、私を襲いました」

痴漢をするのでしょうか。しかも、すれ違いざまにお腹を触るといふのは、不自然な事件だと感じます」(小坂議員)

母の尚美さんも、警察がもっときちんとして取り調べをしてくれたら、と残念がる。

「息子は当日23時27分に、自ら110番しているんです。一方的に暴行を受けているので助けてほしいと。それなのに、暴行の件ではなく、痴漢として息子を取り調べました。水も飲ませてもらえず、食事も与えられず、暴行の痕の傷の手当てもしてもらえず、パイプイスに座らされて、延々取り調べを受けました。息子は、お金を払うから携帯電話を充電させてくれ、電話を貸してくれ、と何度も警察に頼みましたが、取り合ってもらえない。必要な捜査もしていないようでした」

◆ 言葉の端々にじむのは、無念さと怒りだ。

◆ 右下の表のようにひととおりの取り調べが終わった後、原田さんは帰途につく。

◆ しかし、自宅には戻らず、母校のある東西線早稲田駅に向かう。移動中もボイスレコーダーには、原田さんのウツウツという低い嗚咽が残され、電車に身を投げた「ダズン」という音も残されていた。

原田信助さん事件当日の行動

(ボイスレコーダーや母親の証言より)

時刻	行動
19時～	吉祥寺で原田さんの歓迎会
22時45分～	新宿駅西口へ移動、地下街で15分ほど酒を飲む
23時	先輩と別れ、ひとり新宿駅構内の通路を山手線ホーム側へ歩く
23時過ぎ	男子大学生に突然、暴行を受ける
23時27分	「暴行されているので助けてほしい」と110番通報する
23時半過ぎ～24時くらい	新宿西口交番にケンカの当事者として連れていかれる。その後、新宿署へパトカーで移動
24時～5時	新宿警察署で事情聴取を受ける
5時45分	新宿警察署を出てタクシーで新宿駅へ
5時50分	新宿駅西口のコインロッカーに鞆を預ける
6時17分	J丸線で東京駅に到着し、東西線大手町まで歩く(東京駅の防犯カメラに呆然と歩く原田さんの様子が映されていた)
6時22分	大手町から地下鉄に乗る
6時36分	早稲田駅に到着
6時40分	ホームから電車に身を投げ、病院に搬送される
21時3分	搬送先の病院で死亡

フライドの高さで命を絶つたのか

自殺後の警察の対応も、尚美さんの不信任感を増した。

◆ 今年1月中旬、新宿署は「息子さんは痴漢の犯人ではない」と連絡をしてきたという。女子大生も当初、間違いだっただかもしれないなどといって被害届を提出していなかった。

◆ ところが1月下旬「息子さんを犯人と認定したので検察庁に送致する」という電話が入る(被疑者死亡で不起訴)。

◆ 弁護を担当している桐法律事務所は、原田さんの捜査に疑問を持つ。「女性の衣服は押収したそう

◆ ですが、信助さんの指紋や手のひらの繊維は取っていない。配慮を欠いた部分が、多分にあると思います。たとえ痴漢があったにせよ、暴行の事実はいずれも事実です。

◆ 暴行罪で相手男性1名に告訴状を出しました。新宿署では受け取ってもらえなかったため、検察庁に提出し、受理された段階です。新宿署は、もう終わった事件で、痴漢と暴行をセットで捜査して終了した、といっています

◆ 警視庁は本誌の取材に対し「原田さんが亡くなったことは、大変お気の毒ですが、本件については必要な捜査を適正に行ったあとに送致しております」とコメントした。



荒川区議会議員
小坂英二さん

目撃者の証言は、原田さんが警察で訴えた、暴行被害の始まりと合致している。駅の階段であれば、防犯カメラに痴漢の有無の映像が残されている可能性がある。能力が高い。

尚美さんは今、事件起きた時刻とほぼ同じ22時過ぎ、「目撃者を探しています」というポスターを掲げ、JR新宿駅の現場近くに立っている。現在まで、数名の目撃者が名乗り出てくれたという。「詳しくはいえませんが、1人の青年が茶髪の若い男に階段から引きずりおろされ、馬乗りになった茶髪男性に殴られていた」。もう1人の方からは「若い男性2人がケンカをしていた。茶髪のほうが背後から男性を殴って、ケンカが始まった」と連絡をいただきました」

母親も友人も、「ブライドの高い人間」と原田さんを見ていた。そのため自殺を選ぶことになってしまった、と。尚美さんは「無念の自殺だと思えます」と息子をおもんばかり「ブライドがとても高い子でした。ここまで努力し

てきたんです。それが傷つけられ、判断力もありません。死を選んでしまった。新宿署から帰るその足で、自殺してしまっただ。大学の友達も「原田君がブライドの高い人間でなければ、こんなことにはならなかった」と泣きながらおっしゃってました」

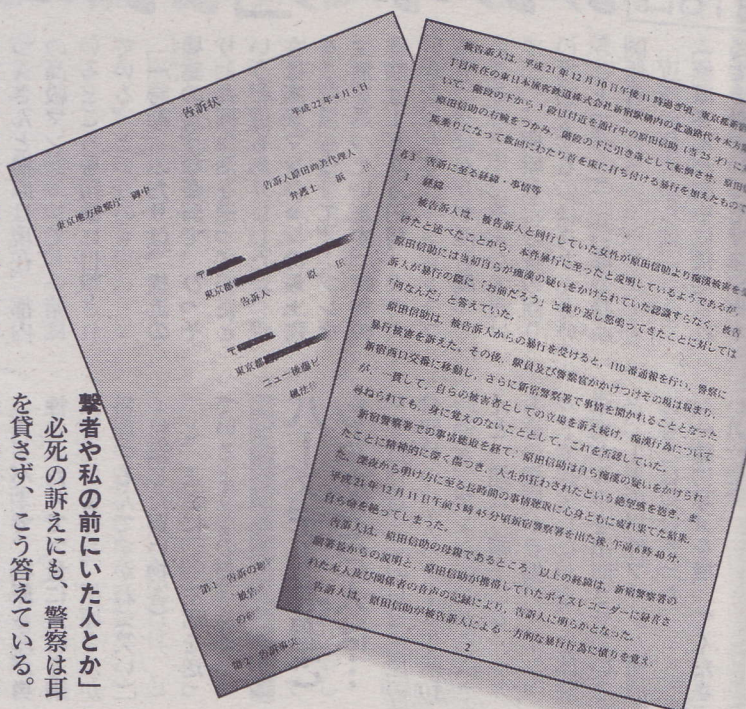
友人女性も「社会にガツカリしちゃったんだと思えます。勉強も頑張ってる、仕事も頑張ってる、何も悪いことをしていないのに、あんなふうにいわれちゃって……。痴漢えん罪を晴らすために生きていくことが、こんなことかわかっていたんだと思えます。警察のパワーに勝てない、と思っただんだと思えます」

田弁護士も、「たとえ警察の捜査が違法で

泣かないと決めても涙があふれて……

泣かないと決めても、繰り返しまだエガやっただらう、といわれ、自分が何をいっても聞いてもらえない、そんな状況が夜中はずっと続いて絶望したのだと思えます」と判断する。

絶望の深さを示すかのようには、「帰ってもいいですよ」と警察にいわれると、原田さんは次のように訴えている。「杞憂かもしれませんが、社会生活に支障をきたすような、ドキュメンタリーにあるような世の中に出回っているえん罪みたいなもので苦しめられたり、そういう支障がある可能性は？ 新宿駅構内の写真とかないんですか？ 目



撃者や私の前にいた人とか」必死の訴えにも、警察は耳を貸さず、こう答えている。「目撃者？ 出てくださいですよ。1日何十万人も通る新宿駅で」

目撃者探しは今、母・尚美さんの日課になっている。「毎日、新宿駅に目撃者を探しに行く前に、息子に祈りながら向かいます。今日は泣かない、って朝決めるんですけど、夜になるとやっぱり泣いてしまう……」

ひとり息子の無念を晴らすため、それでも母はめげない。「息子の無念を考えると、母としてだけでなく、人間として許すことができませぬ。3人には罪を償っていただきます」と思っています」

暴行相手の男子学生への告訴状は新宿署では受け取り拒否となり、検察庁に受理された。真相が明らかになる日は来るのだろうか……